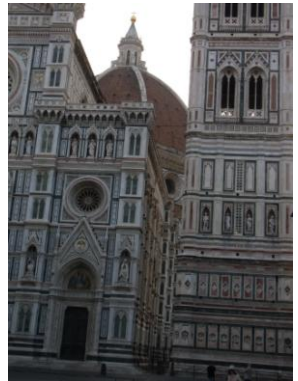


## <Viva Italy!>

念願の旅。本から得た歴史の中の出来事の数々、古代ローマからルネサンスに至る人々の情景。その場所を見たい、という想いがいつもあった。そしてたくさんの美術。目的はフィレンツェとバチカン。過去2回と何か違う。狭い路地を駆け抜ける若者のバイク。郊外への開拓が広範囲に進んでいるらしい。しっとり穏やかな田舎の盆地、歴史に育まれ佇む街中美術館の密かな美しさはもうない。しかし、おおらかな彫刻達と厳かに天にいざなう大聖堂の建築群と教会の数々。強烈な太陽と突き抜ける青空。噴水の水音と踊るようなイタリア語。ああ、イタリアに来た！と実感する。



## <イタリア vs 日本>

一流と言われる場所でもトイレの水は流れず（後で小型ドラム缶状のモノに気付いた）電気はつかず。イタリアは後進国並み？日本のインフラの充実に慣れていた。かつてのイタリアンモードの華やかさも消え、ヨレヨレズボンのおじさん達もぶつとい腕のおばさん達もなんと明るいこと！笑顔と心地よいひと言。細い路地の欠けたところを3人の男たちがノミでレンガを掻き割り元通りに埋めていく。日本でいうスローライフがいかにかわべだけかを知る。帰国して気付いた。人々に笑顔と明るさがない。思えばあれがラテン気質というものか。ギリシャ美術、文化を泉として生まれたイタリア芸術のおおらかさ。日本社会の環境にきっちり順応出来ない者ははじきだされる几帳面さが閉塞感を生み、



うつ、ひきこもり、そして暴力事件をもひきおこしているのかも。  
ラテンのこだわらないアバウトさがお互いを許す広さかもしれない、と改めて  
日本の弱点を知る。

## <野菜生活>

野菜はおいしい。夏はフレッシュな高原野菜。冬は滋味濃厚な根菜類。キャベツと大根は年中欠かさず。ベジタリアンではない。魚は食すが肉には欲求を感じない。ほんの時折 V.B1 をとろう！と思いつき豚肉を買う程度。トビウオ、かます、それに鯛の昆布も良い。でも今の季節、バジルとクレソン香味いっぱいのサラダ、生もずくにおろし生姜と茗荷の酢の物、それにニンニクたっぷりのオリーブオイルに浅利のワイン蒸し。これは一夜の大饗宴になる。落ちる代謝に衰えぬ食への関心。達磨体形になろうがこの喜びは棄てられない。

## <母の教え>

母マリアテレジアは娘マリーアントワネットに度々愛のこもった手紙を送っていた。その中に贅沢を戒め豪華な衣装、宝石、調度品は国民の反感を買いやがて身を滅ぼす源となると再三書いた。国のお金を自由に使うのは、王と王妃の権利、それに楽しいパーティーのない生活なんて考えられないと答える娘は、母の言に従わず、母の言ったとおりの道をたどることになる。

## <新しい BIZ>



相変わらず人気のパワフルネックレス

CN-0154

ローズクォーツ 856.45ct

AG (K22PLD) AG (ガラス®)

これからの BIZ スタイルを目指して  
キラキラ感とモダンテイストのペンダント

PN-0472

アクアマリン 102.65ct グリーンガーネット 0.66ct

ブラックサファイア 0.21ct ダイヤ 0.021ct

K18YG K18WG

